

令和4年第4回清須市議会臨時会会議録

令和4年10月24日第4回清須市議会臨時会は清須市役所議事堂に招集された。

1. 開会時間

午前 9時30分

2. 出席議員

1番	伊藤奈美	2番	浅妻奈々子
3番	齊藤紗綾香	4番	土本千亜紀
5番	松岡繁知	6番	山内徳彦
7番	富田雄二	8番	松川秀康
9番	大塚祥之	10番	小崎進一
11番	飛永勝次	12番	野々部 享
13番	岡山克彦	14番	林 真子
15番	加藤光則	16番	高橋哲生
17番	伊藤嘉起	18番	久野 茂
19番	浅井泰三	20番	成田義之
21番	天野武藏		

計 21名

3. 欠席議員

なし

4. 地方自治法第121条の規定により会議事件説明のために出席した者は次のとおりである。

市	長	永田純夫		
副市	長	葛谷賢二		
教	育	長	天埜幸治	
企	画	部	長	河口直彦
総	務	部	長	岩田喜一

危機管理部 長	丹羽 久 登
市民環境部 長	石田 隆
健康福祉部長 兼 企画部新型コロナウイルス ワクチン接種対策 監	加藤 久 喜
建設部 長	長谷川 久 高
会計管理者	吉田 敬
教育部 長	加藤 秀 樹
監査委員事務局 長	三輪 晃 司
企画部次長兼人事秘書課 長	石黒 直 人
総務部次長兼総務課 長	楢本 雄 介
総務部次長兼財産管理課 長	飯田 英 晴
市民環境部次長兼保険年金課 長	三輪 好 邦
市民環境部次長兼生活環境課 長	松村 和 浩
健康福祉部次長兼高齢福祉課 長	古川 伊都子
建設部 参事	猿渡 一 樹
企画政策課 長	林 智 雄
企業誘致課 長	沢田 茂
財政課 長	服部 浩 之
税務課 長	渡辺 由利子
収納課 長	之 清 岳
危機管理課 長	舟橋 監 司
市民課 長	北神 聖 久
産業課 長	梶浦 庄 治
西枇杷島市民サービスセンター所 長	下村 辰 之
清洲市民サービスセンター所 長	石田 讓
春日市民サービスセンター所 長	日比野 鋭 治
社会福祉課 長	鈴木 許 行
子育て支援課 長	藏城 浩 司
健康推進課 長 兼 新型コロナウイルス ワクチン接種対策室 長	寺社下 葉 子

土 木 課 長	村 瀬 巧
都 市 計 画 課 長	鈴 木 雅 貴
上 下 水 道 課 長	伊 藤 嘉 規
新清洲駅周辺まちづくり課長	前 田 敬 春
会 計 課 長	平 野 嘉 也
監 査 課 長	木 全 信 行
学 校 教 育 長 課 長	吉 野 厚 之
生 涯 学 習 課 長	浅 野 英 樹
学校給食センター管理事務所長	吉 田 剛

5. 本会議に職務のために出席した者の職、氏名

議 会 事 務 局 長	栗 本 和 宜
議会事務局次長兼議事調査課長	後 藤 邦 夫
議 事 調 査 課 主 事	清 本 紫 音

6. 会議事件は次のとおりである。

日程第 1 会議録署名議員の指名について

日程第 2 会期の決定について

日程第 3 議案第50号 令和4年度清須市一般会計補正予算（第7号）案

（ 傍聴者 0名 ）

(時に午前 9時30分 開会)

議長 (野々部 享君)

おはようございます。

定刻になりましたので、令和4年第4回清須市議会臨時会を開会いたします。

ただいまの出席議員は、21名でございます。

これより、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりでございます。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

臨時会の会議録署名議員は、会議規則第80条の規定により、14番林真子議員並びに15番加藤光則議員を指名いたします。

日程第2、会期の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は本日1日間といたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長 (野々部 享君)

異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は、本日1日間とすることに決定いたします。

日程第3、議案第50号 令和4年度清須市一般会計補正予算(第7号)案につきましては、提案理由及び内容の説明を受けた後、委員会付託を省略し、本会議で質疑・討論を行い、採決することが議会運営委員会で決定しております。

これに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長 (野々部 享君)

異議なしと認めます。

よって、ただいま申し上げた方法で行うことに決定いたします。

日程第3、議案第50号を議題といたします。

永田市長より提案理由の説明を求めます。

説明は発言席でお願いいたします。

永田市長。

< 市長（永田 純夫君）登壇 >

市長（永田 純夫君）

おはようございます。

今日は、令和4年第4回清須市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、御多用の中、御出席を賜り、御礼を申し上げます。

それでは、本臨時会の付議事件につきまして提案理由を御説明申し上げます。

議案第50号 令和4年度清須市一般会計補正予算（第7号）案につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響の長期化に加え、食料品などの物価高騰の影響を受ける中で負担が大きくなっている子育て世帯の生活を応援するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、清須市独自の支援策として、市立小中学校の学校給食費を本年11月から翌年1月までの3か月間、無償化するとともに、学校給食費の無償化の対象とならない18歳以下の児童を養育している世帯等には、子育て世帯生活応援給付金を給付することといたします。なお、給付金につきましては所得制限を設けないこととし、令和5年3月末までに生まれる新生児も対象といたしたいと思っております。

このほか、住民税非課税世帯等に対して、国の物価高騰対策による1世帯あたり5万円の給付金を給付するなど所要の補正を行うことについて、地方自治法第96条第1項第2号の規定により議会の議決を求めるものでございます。

補正額は3億7千568万8千円を追加し、予算の総額は310億3千281万6千円となります。

以上、簡単ではありますが、提案理由の説明とさせていただきます。

詳細につきましては担当者から説明させますので、十分に御審議の上、御賛同賜りますようによろしくお願いを申し上げます。

議長（野々部 享君）

日程第3、議案第50号について、総務部長から内容の説明を求めます。

岩田総務部長。

< 総務部長（岩田 喜一君）登壇 >

総務部長（岩田 喜一君）

総務部長、岩田です。

議案第50号について御説明します。

令和4年度一般会計補正予算書及び説明書の1ページを御覧ください。

議案第50号

令和4年度清須市一般会計補正予算（第7号）

令和4年度清須市の一般会計補正予算（第7号）は、次に定めるところによる。

第1条は歳入歳出予算の補正です。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億7千568万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ310億3千281万6千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

第2条は繰越明許費の補正です。

繰越明許費の追加は、「第2表 繰越明許費補正」による。

令和4年10月24日提出

清須市長 永田純夫

1枚はねていただきまして、2ページを御覧ください。

第1表 歳入歳出予算補正です。

まず、歳入です。

15款国庫支出金、補正額4億1千532万2千円の増額、2項国庫補助金です。

19款繰入金、補正額3千439万8千円の増額、2項基金繰入金です。

21款諸収入、補正額7千403万2千円の減額、5項雑入です。

右側の3ページを御覧ください。

歳出です。

3款民生費、補正額3億7千568万8千円の増額、1項社会福祉費と2項児童福祉費です。

10款教育費、補正額はありません。国庫補助金と雑入の財源組替えです。

6項保健体育費です。

1枚はねていただきまして、4ページを御覧ください。

第2表 繰越明許費補正です。

3款民生費、2項児童福祉費、子育て世帯生活応援給付金給付事業については、令和5年3月生まれの児童の一部について、4月中の申請受け付けとならざるを得ないことから、101万円

を繰越明許費に追加するものです。

それでは、歳入と歳出事業の詳細を説明します。

右側の色紙から補正予算（第7号）に関する説明書になります。

あと3枚はねていただきまして、8ページ、9ページを御覧ください。

まず、歳入です。

15款国庫支出金、2項国庫補助金、1目総務費国庫補助金、補正額1億3千158万9千円の増額、1節総務管理費補助金です。

説明欄を御覧いただきまして、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額です。この後、説明をする学校給食費無償化事業に伴う賄い材料費と児童福祉事業に充当する特定財源です。

2目民生費国庫補助金、補正額2億8千373万3千円の増額、1節社会福祉費補助金です。

説明欄を御覧いただきまして、電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費補助金の新規計上です。この後、歳出で説明をする電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金費に充当する特定財源10分の10です。

19款繰入金、2項基金繰入金、1目基金繰入金、補正額3千439万8千円の増額、1節基金繰入金です。

説明欄を御覧いただきまして、財政調整基金繰入金の増額です。本補正予算（第7号）案に不足する財源について、財政調整基金から繰り入れるものです。この第7号補正後の財政調整基金現在高は22億1千743万円となります。

21款諸収入、5項雑入、2目雑入、補正額7千403万2千円の減額、9節教育費雑入です。

説明欄を御覧いただきまして、学校給食費の減額です。食料品などの価格高騰に直面する子育て世帯を応援するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、市立小中学校に就学している児童生徒の給食費を期間限定で無償化し、保護者の介在的負担を軽減するものです。無償化対象期間は、令和4年11月から令和5年1月までの3か月分です。学校給食費の口座振替を停止することにより、無償化を実施します。

1枚はねていただきまして、10ページ、11ページを御覧ください。

歳出です。

3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費、補正額2億8千373万3千円の増額、3節職員手当等から18節負担金、補助及び交付金までです。

説明欄を御覧いただきまして、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金費の新規計上です。電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に、家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金を給付するものです。給付対象世帯見込みは、住民税非課税世帯が5千300世帯、家計急変世帯が150世帯です。給付額は1世帯あたり5万円です。住民税非課税世帯のうち基準日の9月30日において世帯全員の令和4年度分の住民税が非課税である世帯は、速やかにプッシュ型で給付に要する手続を進め、11月中旬に確認書を発送し、11月下旬に給付を開始します。令和4年1月2日以降の転入者がいる世帯及び家計急変世帯に対しては、広報やホームページで周知をします。それぞれ必要な書類を添付した申請が必要となります。確認書または申請の受付期限は令和5年1月末で、2月中に給付を完了する予定です。

中段の2項児童福祉費、1目児童福祉総務費、補正額9千195万5千円の増額、10節需用費から18節負担金、補助及び交付金までです。

説明欄を御覧いただきまして、子育て世帯生活応援給付金費の新規計上です。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、物価高騰の影響を受ける子育て世帯等の家計支援を行うため、高校生相当以下の児童を養育する方に対し、子育て世帯生活応援給付金を給付するものです。対象区分は、未就学児、小・中学生及び高校生相当の3区分となります。

まず、0歳から5歳までの未就学児は、基準日の11月1日時点で清須市に住民登録がある児童と令和5年3月31日までに清須市で出生した児童が対象です。給付額は児童1人あたり1万円です。給付の方法は、公務員を除いた9月分児童手当の受給者及び10月末までに10月分または11月分の児童手当の受給認定を受けた方については、プッシュ型で12月上旬に給付案内を発送し、12月下旬に給付金を振り込む予定です。それ以外の方は申請が必要で、令和5年2月末まで申請を受け付け、3月末までに給付金を振り込む予定です。ただし、11月2日から令和5年3月31日までの出生児分については4月末まで申請を受け付け、5月末までに給付金を振り込む予定です。

次に、6歳から15歳までの小・中学生は基準日の11月1日時点で、11月から令和5年1月までの3か月分の給食費無償化の対象とならない児童が対象となります。給付額は児童1人あたり学校給食費3か月分相当額となり、小学生が1万2千300円、中学生が1万4千400円です。対象者は全て申請が必要で、令和5年2月末まで申請を受け付け、3月末までに給付金を振り込む予定です。

最後に16歳から18歳までの高校生相当は、基準日の11月1日時点で清須市に住民登録がある児童が対象となります。給付額は児童1人あたり1万5千円です。対象者は全て申請が必要で、令和5年2月末まで申請を受け付け、3月末までに給付金を振り込む予定です。

なお、この2項児童福祉費、1目児童福祉総務費には数字や文字では表示されておりませんが、9月の第6号で補正をした保育所等給食費軽減対策支援金の財源組替70万円も含まれています。財源内訳の中の一般財源70万円を減額し、特定財源の国庫支出金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金70万円を増額しています。したがって、子育て世帯生活応援給付金費の財源内訳は、国庫支出金5千685万7千円、一般財源3千509万8千円となります。

ただいま説明をした歳出事業、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金費及び子育て世帯生活応援給付金費につきましては、本日御審議をいただき、可決いただけましたら、速やかに給付に係る事務を進める予定です。

下段の10款教育費、6項保健体育費、3目給食センター費は、学校給食の賄い材料費7千403万2千円について財源組替をするものです。歳入で説明をした教育費雑入、学校給食費の減額分について、国庫支出金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に財源組替をするものです。

議案第50号の説明は以上です。

議長（野々部 享君）

これより、質疑、討論を受けますが、議員の質疑及び当局の答弁は挙手をし、議長の許可を得てから、自席で議席番号と名前、役職名を述べてからそれぞれ行ってください。

また、討論については挙手をし、議長の許可を受けた後、発言席でお願いいたします。

それでは、日程第3、議案第50号に質疑のある方の挙手を求めます。

高橋議員。

16番議員（高橋 哲生君）

高橋でございます。

給食費の学校給食無償化のほうですね、これは物価高騰ということなんですけども、無償化は本当にありがたいことなんですけども、給食の内容ですね、質とか量とかを落とさないように、どのように工夫していかれるのかお尋ねします。

私が聞いているところによると、現在でも1つ皿が減ったりとか、そういうことをお聞きしているんですけど、物価高騰分に対して、質・量を落とさないようにどのように担保されていくの

か御説明をお願いします。

議長（野々部 享君）

吉田給食センター所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

学校給食センター管理事務所長、吉田でございます。

今、議員がおっしゃられた皿が1つ減らした期間があったということで、これは実際、小皿のほうを少なくして給食を提供しました。これはですね、給食の中身を落としたとか、そういうことではなくて、食器洗浄機が故障をしまして、洗浄する作業の能力が低下したというところで、本来であれば献立自体は4皿でお出しする給食でございますけども、3皿にさせていただいて提供させていただいたという理由でございます。現在は洗浄機のほうは応急的ではありますが、修繕がなされまして、通常の4皿で提供しております。

それとですね、現在、献立ですとか栄養価を低下させないように工夫ということでございますけども、栄養士のほうで、当然、これまでと同様の献立を提供していくという考えの中で、物資を選定する中で、これは学校の先生たちにも御意見を伺いながらということでございますが、良質で安価なものということで提供させていただいております。現在、今年度4月分から今11月分まではほぼ賄い材料費の支出見込みは出ておりますが、1日あたりの歳出予算の換算で見ますと何とかやれておるとい状況がございます。

以上でございます。

議長（野々部 享君）

高橋議員。

16番議員（高橋 哲生君）

支出のほうは物価が上がったことによって変わらないですか。例えば、安全上、まさか安全じゃないものを使っているとは思いませんけども、そこら辺はいかがなんでしょうか。

議長（野々部 享君）

吉田所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

その辺の物資の選定につきましては、これまでと同様の考え方でやっておりますので、安全性については問題ないかと思えますし、献立についても、私も毎日給食を食べておりますけども、これまでと特に変わりなく、おいしい給食を提供できておると判断しております。

以上です。

議長（野々部 享君）

高橋議員。

16番議員（高橋 哲生君）

では、ぜひ、よろしくお願いいたします。

以上です。

議長（野々部 享君）

加藤議員。

15番議員（加藤 光則君）

15番、加藤です。

まず、今回、子育て世帯生活応援給付金ということで、未就学・小中学生・高校生ということで、今回予算を組まれたことについては非常に賛同するものであります。その上でお聞きしたいわけでありまして。

1つは、今回、子育て世帯生活応援費と学校給食無償化事業、これは新規でやられるわけですが、そこがかみ合っておる部分があります。特に、今、説明があったわけですが、小中学生のところ、6歳から15歳、給食費の無償化対象とならない児童、これは約250人ということと書かれておりますが、この中身についてお伺いしたいと思います。

議長（野々部 享君）

吉野学校教育課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課、吉野でございます。

内訳といたしましては、不登校やアレルギー、そして外国籍等のお子様と特別支援学校、それから私立の小中学校等に行かれています児童生徒の皆さんでございます。内訳といたしましては、不登校等のお子様、小中学校合わせ84名、特別支援学校のお子様、42名、それから私立等へ通っておられるお子様が124名、合計250名でございます。

以上でございます。

議長（野々部 享君）

加藤議員。

15番議員（加藤 光則君）

分かりました。

今回給付のほうで今、説明があった中で、こうした人たちも含めて、ここの部分は申請が必要ということと言われたわけであります。それぞれ中身がいろいろありますので、これはお願いしておきます。申請者にですね、1つは寄り添った対応をしていただきたい。申請で一方的に申請してくださいじゃなくて、中身を今、聞いているいろいろな対応が必要かと思いますので、しっかりその辺は対応していただいて事業に取り組んでいただきたいということをまず申し述べておきます。

それから、引き続いて、政府のほうで9月20日に予備費による地方創生臨時交付金4千億円の増額を決定して、この4千億円と4月の物価高騰対応分1兆円のうち保留していた2千億円を合わせた6千億円を新たに電気とかガスとか食料品等の価格高騰重点支援地域交付金として交付していく、こういうことが決められたわけですけれども、この交付限度額については算定した額が地方公共団体ごとに通知されてきていると思いますが、本市の限度額についてはどういうふうになっているのかお聞きします。

議長（野々部 享君）

林企画政策課長。

企画政策課長（林 智雄君）

企画政策課、林です。

議員が先ほど言われました重点交付金の内示額については、1億3千158万9千円が内示されております。

以上です。

議長（野々部 享君）

加藤議員。

15番議員（加藤 光則君）

そうすると、第3回臨時会でお聞きしたときに1億3千158万9千円ということが言われたと思いますけれども、その額だと。そうすると、増額分と保留分が出てきて本市の限度額、9月20日に予備費によるあれが4千億円増額されたということと言われたわけですが、前回聞いた額と今、聞いて額は変わっておらんから、本市としてはあまり影響額がなかったという理解でよろしいですか。

議長（野々部 享君）

林課長。

企画政策課長（林 智雄君）

企画政策課、林です。

先ほど言われた第2次のところで物価高騰対策と地方単独事業分として1億9千500万円ほどが内示されておりまして、第3次として今回の重点交付金として約1億3千万円が交付されている状況です。

以上です。

議長（野々部 享君）

加藤議員。

15番議員（加藤 光則君）

ということは、臨時交付金の限度額が第3回臨時会でお聞きしたときは1億9千578万5千円ということで、今、言われたのが1億3千158万9千円が今回予算書に上がると臨時交付金の額であります。そうすると、令和4年度の臨時交付金の活用事業は、今、振り返って、トータルで金額と事業がどうなっているのかお聞きしたいと思います。

議長（野々部 享君）

林課長。

企画政策課長（林 智雄君）

企画政策課、林です。

令和4年度の交付決定分の内示については、第1次として令和3年度本省繰越分として1億200万円を加えまして、先ほど申し上げた金額を加えますと、令和4年度として約4億3千万円の内示が出ている状況です。

以上です。

議長（野々部 享君）

加藤議員。

15番議員（加藤 光則君）

ということは、今年度、4億3千万円の内示が出ておると。そうすると、例えば、今回の臨時交付金、締切が10月31日、交付決定が12月中ということで今回臨時会が開かれておるわけですがけれども、内示が決まっておって、既に申請した額というのは、今回も含めてどういうふうになるのか改めてお聞きします。

議 長（野々部 享君）

林課長。

企画政策課長（林 智雄君）

企画政策課、林です。

今回、実施計画に計上させた金額に関しては、今回の補正を含め、全ての金額を実施計画に計上する予定となります。

以上です。

議 長（野々部 享君）

加藤議員。

15番議員（加藤 光則君）

分かりました。

地方創生臨時交付金は物価高騰対策に充てられる、こういうことが示されているわけでありま
す。特に円安の影響などによる物価高騰で、本当に市民生活が深刻になっている、こういう状況
があるわけであります。今回もそうですが、こういったものを充当していくことは、さらには市
独自の財源を活用して、この物価高に対する対策に全力を挙げていただくということをお願いし
て、私の質問を終わります。

以上です。

議 長（野々部 享君）

これで質疑を終了いたします。

討論に入ります。

最初に、反対討論のある方の挙手を求めます

（ 「なし」の声あり ）

議 長（野々部 享君）

続いて、賛成討論のある方の挙手を求めます。

（ 「なし」の声あり ）

議 長（野々部 享君）

これで討論を終結いたします。

採決に入ります。

議案第50号に賛成の方の起立を求めます。

< 起立全員 >

議長（野々部 享君）

起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

以上で、本日の議事日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、令和4年第4回清須市議会臨時会を閉会といたします。

御審議いただきありがとうございました。

（ 時に午前 9時58分 閉会 ）

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

令和4年10月24日

議 長 野々部 享

署名議員 林 真子

署名議員 加藤 光則